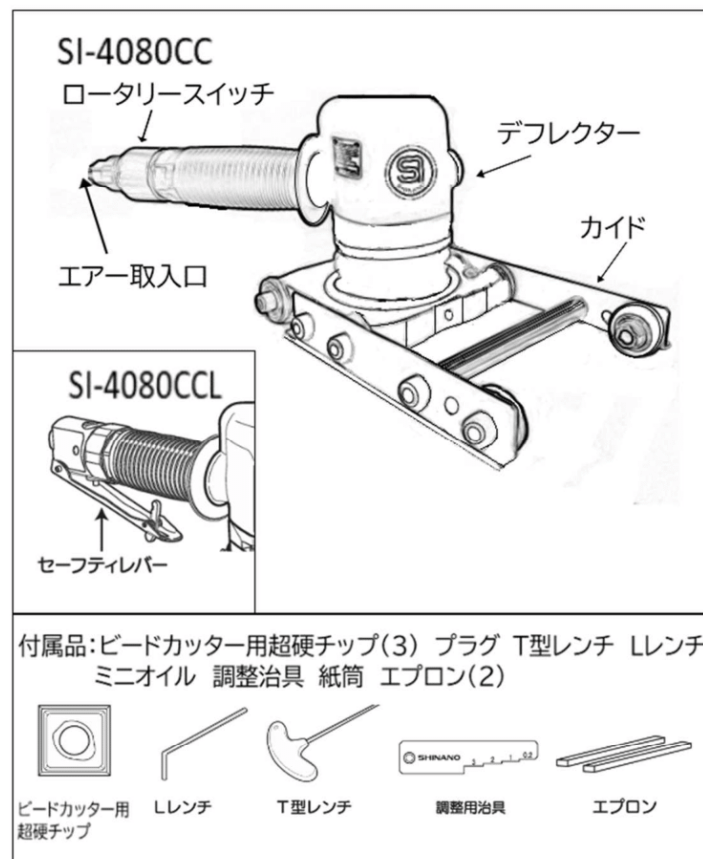
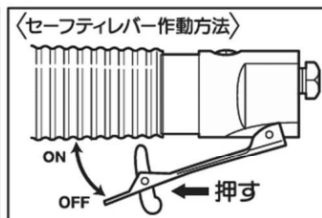
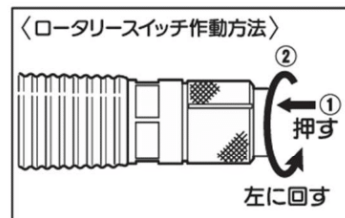


SI-4080CC /SI-4080CCL コラム用ビードカッター 取扱説明書

切削面の確認のため、テスト加工を行っております。テスト加工を行った状態のチップを装着しておりますので、多少の傷がついておりますが、製品の性能上問題ありません。

作業前の準備

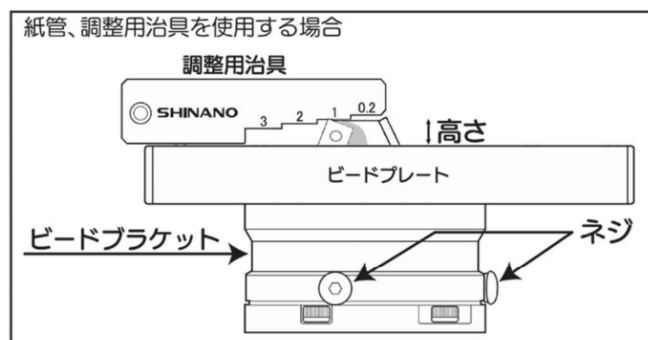
1. スイッチ側のハンドルのエア取り入れ口にプラグを取り付けて下さい。
2. 取り付けたプラグより、付属のオイルを0.5cc (2～3滴) 注入し、エアホースにつなぎ3～5秒間試運転させてオイルをなじませて下さい。
3. チップの装着を確認して下さい。
装着していない場合は、チップの交換要領を参照に、取り付けて下さい。装着してある場合も、チップの摩耗や破損状態を確認して下さい。
4. スイッチはそれぞれ図の作動方法にてスタートします。



ビードの切削高さの調整方法

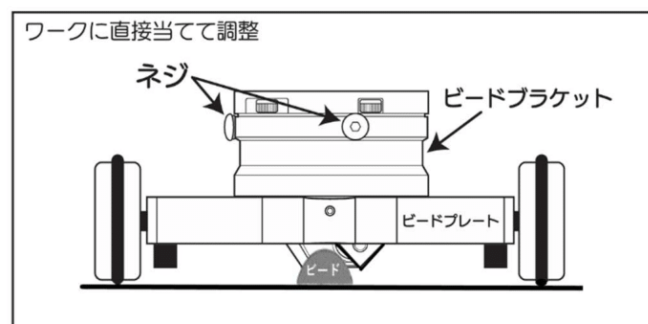
● 紙管、調整用治具を使用する場合

1. プレートブラケットのネジを2か所緩めます。
2. ツールをひっくり返し、紙管に入れ固定します。
3. プレートブラケットとビードプレートを一緒に回し、高さを調整します。
4. 調整用治具を使用することにより、大まかな高さを調整できます。
5. 高さが決まったら、プレートブラケットのネジを固定します。



● ワークに直接当てて調整

1. プレートブラケットのネジを2か所緩めます。
2. ワークとビードプレートの隙間を見て調整をする。
3. プレートブラケットとビードプレートを一緒に回し、高さを調整します。
4. 高さが決まったら、プレートブラケットのネジを固定します。



ハンドルの位置調整

高さ調整をすると、ハンドル位置が適切な位置にならない場合があります。下記、手順でハンドル位置をお好みの位置に調整してください。

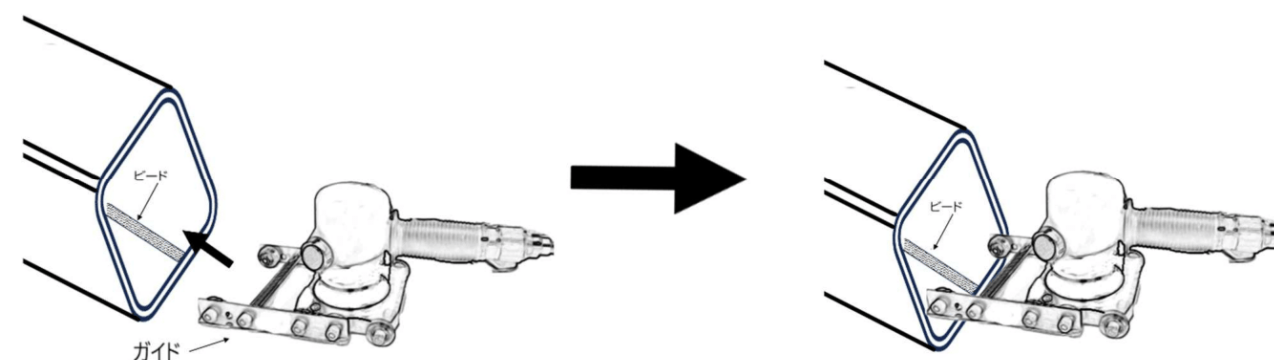
1. ビードプレートのネジを緩める。
2. ハンドル位置を調整する。
3. ハンドル位置を調整後、ネジを固定する。

但し、プレートブラケットの網掛けの箇所は、チップ交換用の穴が開いている為、固定出来ません。網掛け以外の箇所で、固定して下さい。

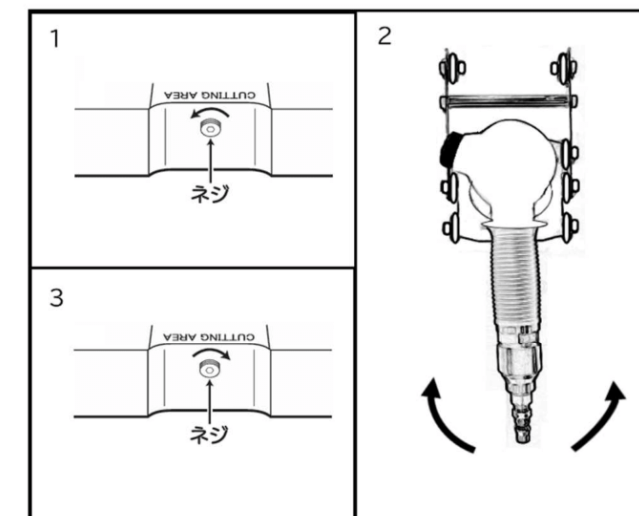
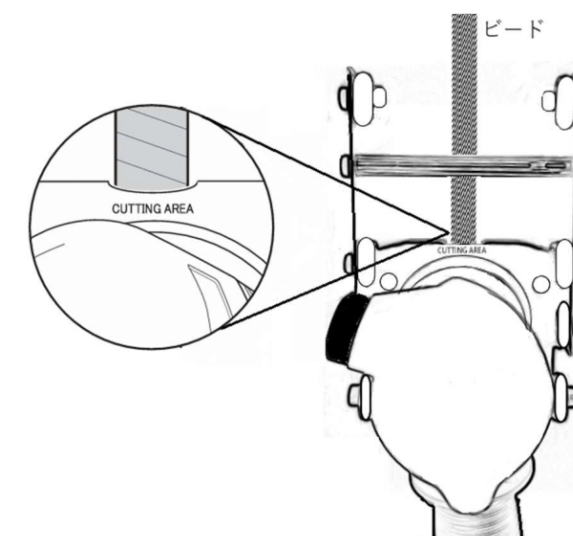


作業手順

1. コラムの底面と4輪のガイドが平行になる様に、ガイドの先端からコラム内へ差し込みます。



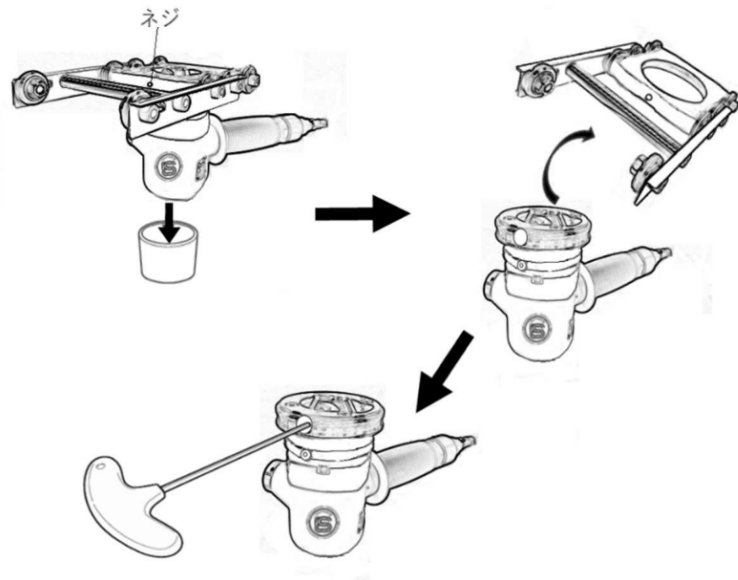
2. 図の「CUTTING AREA」が作業範囲になります。範囲内に収まるように操作してください。
3. 範囲内に収まらない場合は、2回に分けて作業してください。



チップの交換要領

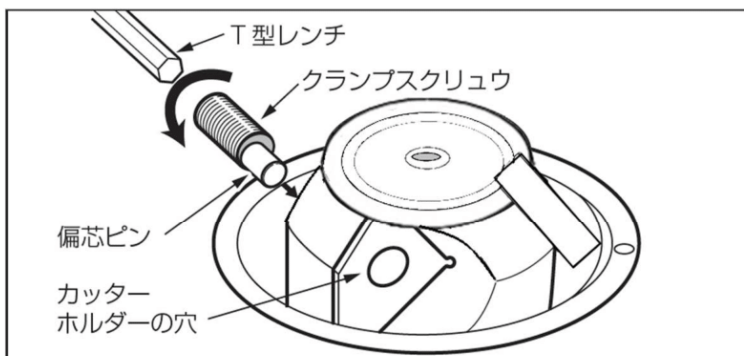
●チップの取外し

1. 付属の紙筒に本体を逆さにし、固定します。
2. ビードプレート側面にあるネジを外します。
3. ネジを外したらビードプレートを本体から外してください。
4. スライドリング側面にある穴から T 型レンチをクランプスクリューに差し込んでください。
5. T 型レンチを右に回して (逆ネジ方向) ロックを解除してください。
6. 残り 2 個のクランプスクリューも同じ要領で外してください。



●チップの取付け

1. カッターホルダーの穴にクランプスクリューを T 型レンチで右に回して取付けます。
取付け位置は、クランプスクリューの偏芯ピン部分だけ穴から出て、偏芯ピンはカッターホルダーの外側に位置するようにセットします。



2. 出ている偏芯ピンにチップの穴を合わせます。



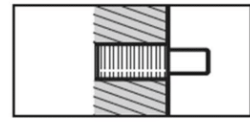
ピンだけ出た状態。
位置はホルダー穴の外側

チップ取り付け側・正面



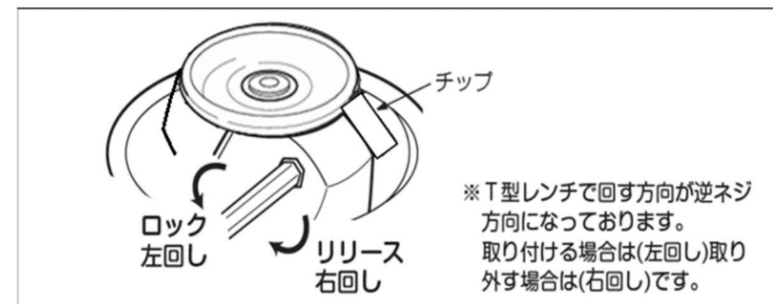
穴の外側にピンを寄せて取り付ける

横から見た図

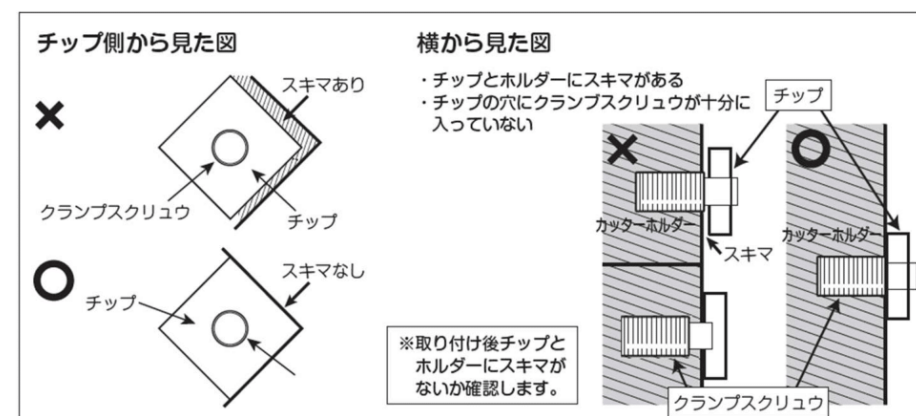


ネジ山が面いちになるように取り付ける

3. クランプスクリューを左に回し、偏芯ピンがカッターホルダーの穴の内側にきて、チップがカッターホルダーにしっかりと押し付けられるようにロックします。

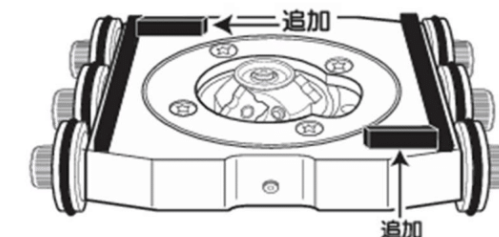


4. 取付け後、チップとカッターホルダーにスキマや浮きがないか確認します。



切子飛散防止

ツールに既に切子飛散防止ゴム(エプロン)が装着しておりますが、さらにお好みに追加できるように予備が付属しております。



警告

- ◆作業前に、超硬チップがカッターホルダーにしっかりと固定されているか確認してください。
- ◆作業時には絶対に回転部に触れないでください。
- ◆超硬チップ交換時には必ずエアースーツを外してください。
- ◆作業時には切削カスが発生します。必ず保護メガネ、マスク、手袋を着用してください。
- ◆多少の振動が伴いますので連続作業は避けることをお勧めします。